

上七軒・歌舞練場にて「城陽おかげ踊りを広める会」公演観覧記

中東 育代

去る2月28日(土)。この日は上七軒の歌舞練場にて「城陽おかげ踊りを広める会」の発表があった。あっという間にチケットが完売して手に入らなかったと何人かに聞いたのだが、有り難い事にお誘いいただいたのだ。格式の高い所なので、ドレスコードが有るのかと1人大騒ぎしたが、ついに当日に。



上七軒の歌舞練場の入り口付近

新・民俗芸能大会「京のかがやき」と題して、先人から受け継いできた京都各地の民俗芸能を「文化と心を未来へ向け光と音の演出を組み合わせた本公演でしか見られない演出で、未知なる可能性を引き出します」という様な事らしい。時間の関係上、見所を凝縮したもので、昨年のおかげ踊りの奉納の時に演出家の先生が来ておられたと思う。楽しみだ。主催者のご挨拶に続き案内人として、京都府出身ロックバンド「10-FEET」のベースボーカルのNAOKIさん(京都大作戦主宰)、「ヤバイTシャツ屋さん」のギターボーカルこやまたくやさんが出演団体の紹介やインタビューをしてくれた。確か京都の観光大使だったかな?公演は14時30分から17時25分まで、5団体。おかげ踊りは2番目で、その後休憩が入る。会場に入り席に着いた頃、栈敷席?に歴民の館長方を見かけた。

公演は、「おかげ踊り」と「伊勢音頭」の2曲

城陽おかげ踊りを広める会の公演は、「おかげ踊り」と「伊勢音頭」の2曲と聞いたので、間がもつのかな?と言うのが正直なところだった。

昨年入会した会員さんが出演出来ず客席に来ていたと言っていたが、総勢22名?舞台の広さからすると、全員とはいかないのか。花道後ろの小部屋で、お囃子の小学生くらいの着物を着た男の子が鉦を叩いていた。LEDを使った演出として、演者後ろの蛍光灯つぼい照明が、「ええじゃないか」に合わせて左右に振れて踊っていたり、花道にも光が波打つ演出が。2曲を披露した後、工藤会長とのインタビューでは「おかげ踊りは民衆の踊り。1人ではなく皆で踊るもの。今の人にも馴染める様、少し変えている。」的な話しに、案内人「東京音頭・おかげ音頭・平成

上七軒・歌舞練場にて「城陽おかげ踊りを広める会」公演観覧記/今年も参加 みんなのおまつり
さんさんフェスタ 2月15日・文パル/史跡 平川廃寺跡 ~謎多き古代寺院 その姿に迫る
~拝聴記/小泉氏が文パルで2週連続で講演会/2月の行事を駆け足で報告/矢形餅の神事 久
御山町・室城神社の春祭り/文全協歴史講座 都出比呂志先生の追悼講演会/トウキのつ帰/
寺田李のつぼみが膳巻/お詫びと訂正/会の活動・短信/杣人 森澤李庵白寿の記念作品展 他